

豊野地区の公共施設の整備について

企画政策部復興局
復興推進課

ONE  HEART



1 豊野地区公共施設の整備概要（10月1日部長会議決定）



豊野地区を含めた長野市
東北部の消防体制等の強化
について検討

防災拠点機能を加え「(仮称)豊野
防災交流センター」として市営住宅
沖団地跡地へ移転新築

美濃和田団地(南側)への
災害公営住宅の統合整備

沖団地



災害公営住宅美濃和田団地完成予想図

<令和2年度>	
こぶし	9月1日再開
豊野老人福祉センター	10月1日再開
豊野屋内運動場	10月1日再開
豊野体育館	10月2日再開
豊野中学校(校舎・体育館)	12月1日使用開始予定
<令和3年度>	
豊野支所(1階)	4月頃使用開始予定

市のたたき台をもとに、以下のとおり整備基本方針を地元で合意(11月)
今後基本設計に向け協議を行う。

基本方針

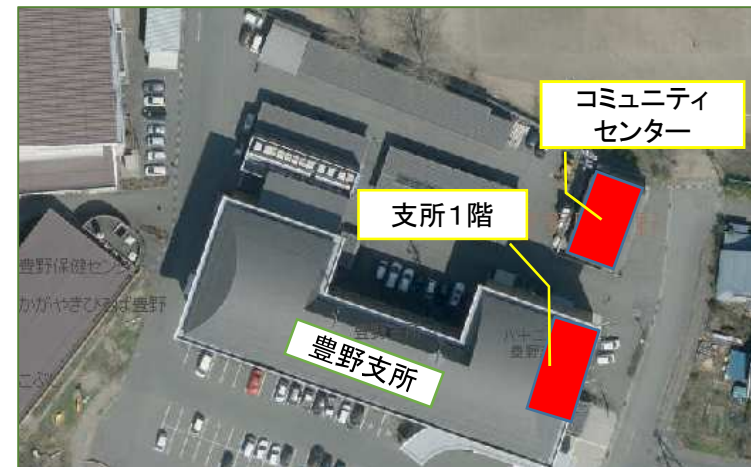
- ・交流センターは、公民館の集会機能、防災備蓄倉庫、防災教育ができる教室機能などを取り入れる。
- ・交流センターは水害時の一時退避を考慮して、盛土等の上に整備など浸水対策を行うとともに、敷地内へ雨水流出抑制施設を整備する。
- ・交流センター周辺には、広場を配置し、災害時に活用できる「かまどベンチ」等を付帯する。
- ・敷地内に水害対策倉庫及び防災備蓄資材置き場を設置する。
- ・交流センターの整備に当たっては、市の公共施設マネジメント指針を考慮し、既存施設の面積以内で複合化等により面積削減に努めるものとする。
- ・交流センターは、市の予算の範囲内で整備するとともに、市は財源確保に努める。

経過

- ・長野市災害復興計画では、「大規模な水害時における迅速な復旧支援のため、豊野地区を含めた長野市東北部の消防体制の強化について検討する」とし、都市計画道路の交通状況などを勘案しながら検討を進めてきた。

検討

- ・都市計画道路等を勘案しても、市東北部における消防体制として、若槻分署及び柳原分署の役割は現エリアに必要
- ・豊野地区における到着遅延地域の解消と水害時の対応のため、同地区への消防施設の設置が必要



整備基本方針

- 豊野地区に消防分署を設置する。
- 課題解消のため、早期の設置、費用の低減、効率的な運用の観点から豊野支所及び豊野消防コミュニティセンターの建物を活用する。
 - ・支所1階を事務所及び指令室に想定(水害時のバックアップを支所内に確保)
 - ・コミュニティセンター(旧消防団施設)は車庫及び仮眠室として使用

4 豊野地区への消防施設整備方針について

1 経過

H30未来トーク.R1ようこそ市長室で地元要望

2 事業効果

豊野地区を中心としたエリア年間約500件の救急出動及び各種災害対応の時間短縮

3 拠点候補地

支所及びコミュニティーセンターで整備

- ・人口集中地で平時の消防・救急需要に効果的
- ・大規模災害時支所・自治協・機能別消防団の拠点で連携に効果
- ・既存施設活用により、最小の経費で最大の効果
- ・浸水対策として上階に活動拠点を確保することで対応

4 組織体制等

- ・鶴賀消防署の分署に位置付け（合併・地元要望）
- ・消防車・高規格救急車を配置し乗換運用で各種災害に対応（補完は若槻分署・柳原分署・鳥居川署）

5 整備費用

概算168,845千円（改修工事・車両等整備）
緊急消防援助隊登録部隊配置による緊防債活用

6 整備計画

令和3年度 改修工事・車両購入
令和4年4月 運用開始（最速）

東北部の消防体制

鳥居川消防署
若槻分署
長野市民病院
柳原分署
中央消防署
消防局
鶴賀消防署東部分署

既存消防コミュニティーセンター改修
(夜間待機室・滅菌室整備)

豊野支所
車庫棟
待機室

豊野支所内事務室設置

日 程	内 容
令和2年11月25日	部長会議
	地元調整
12月2日	新友会代表質問
12月9日	総務委員会